

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

| 市町村名 | 学校名等 |
|------|-------|
| 安堵町 | 安堵小学校 |

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

本事業の前身の学校・地域連携事業の時代から、多彩な知識・経験や技術をもった方々に学校支援ボランティアに登録していただき、学校の様々な教育活動や子どもの通学路の安全の確保のために支援と協力を得てきた。こうした学校と地域の結びつきをより一層深め、パートナーシップ事業のねらいである協働・参画型の関係づくりをめざすために、PDCAサイクルに基づいたコミュニティ会議を充実させるよう努めた。

2 取組の概要

すべての分野において、従来型の支援型から協働・参画型へ移行するのは準備不足であったため、創設以来、約20年にわたって学校と関わりを持ってきたおはなしサークル「ねこじゃらし」と学校との交流行事から積極的にコミュニティ会議をもって、意義を再確認し、目的意識を共有することから計画を進めた。たとえば、6年生の子どもたちがプログラムの一部に参加する「冬のコンサート」では、国語学習の内容から宮沢賢治の作品を題材に選び、「ねこじゃらし」の方々のアドバイスを受けながら郡読に取り組み発表した。実施後も反省会を持ち、双方が積極的に意見を交わし、次年度への課題とした。

また、3年生の「観光ボランティア」との郷土学習でも、重要文化財中家住宅の見学と笥掘り体験学習に向けて事前にコミュニティ会議をもち、これまでの経緯や目的や意義を再確認しながら取組を進めることができた。「子どもたちの感想が、観光ボランティアの励みとなり、宝となっているのです。」という言葉に、学校の教員もあらためて地域の方々の熱い思いを実感し、双方向の交流の大切さに気付かされた。

